

令和8年度を迎えて

羽生市立東中学校
校長 高野 達

昭和56年開校、歴史と伝統ある羽生市立東中学校を、福田和己前校長より引き継ぎました校長の高野 達(こうの たつ)です。

自己紹介をさせていただきます。東中学校が開校した昭和56年、私は真新しい校舎に胸を躍らせながら入学しました。平成3年度より中学校社会科の教員として20年間勤務し、その後、羽生市立羽生北小学校、三田ヶ谷小学校で管理職をしておりました。昨年度は、羽生市教育委員会で勤務し、今年度より母校の校長を務めることになりました。子供の頃から育った羽生市のために力を尽くしてまいりますので、どうぞ、よろしくお願いいたします。

さて、本校では、新たに113名の1年生を迎え、全校生徒357名と全教職員で令和8年度がスタートしました。本日4月8日(水)に入学式・始業式を挙行いたしました。生徒の皆さん、保護者の皆様、入学・進級おめでとうございます。

入学式・始業式では、私が東中学校1年生のときの担任であり、校章をデザインされた松島利樹先生の思いをふまえた話をしました。校章の船は、中学校生活という「船出」を象徴しています。広い海を決して一人で進むのではなく、先導する二・三年生、寄り添い助言する教職員、そして保護者の皆様の支えがあってこそ、安心して中学校三年間の航海を続けることができます。

令和8年度の船出が羽生市立東中学校全体としてスムーズに進むよう、地域の皆様にも、これまでと変わらぬ御支援を賜りますようお願い申し上げます。

校章



- オレンジ色の円は、東から昇り出でんとする太陽を表す。
- 中央の三角は、本校の前身である3中学校(井泉、手子林、千代田)の統合、より高く伸びゆく発展、学びのペン先をイメージする。
- 外周の三重の弧は、羽生の「羽」をアレンジし、大空への羽ばたきと世界への広がりとの和を示す。
- 下の弓形部は大海、そして三角と文字「中」を合わせ、そこに乗り出でた船を連想させる。

校訓
「昇る陽の如く」
学校教育目標

〔知〕 学ぶ喜びを知る生徒
〔徳〕 誠実な生き方ができる生徒
〔体〕 たくましい気力・体力を身に付けた生徒

生徒

	男子	女子	合計
第1学年	55名	58名	113名
第2学年	62名	62名	124名
第3学年	65名	55名	120名
全校	182名	175名	357名

教職員 校長1、教頭1、主幹教諭1、養護教諭1、事務2、教諭24、非常勤17 (4/8 現在)